

こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 207 12月定例会

令和6年1月31日発行

- 4 新年のご挨拶
- 5 12月定例会ではこんなことが決まりました
- 8 そこが聞きたい!!一般質問
- 14 令和5年の議会活動を報告します

特集

市議会

湖西フロンティア
倶楽部



令和5年11月4日実施



特集

おちばの里親水公園を拠点として、自然保護活動、青少年リーダーの育成、地域文化の継承や地域内の各種団体の連携による住みやすい地域づくりの活動に積極的に取り組んでいる湖西フロンティア倶楽部の方々にお話を伺いました。



団体設立の経緯は。

青少年を育てる会のようなものができたらいいなということで、市が若い人達を集めて平成4年に30名ほどでスタートしました。設立当初は青少年ホームで活動していましたが、おちばの里親水公園ができ、自然の中で子どもたちの健全育成ができればと考え、現在はここが活動の拠点となっています。

長く続いている秘訣は。(設立32年目)

みんながリーダー的な立場になれるということが、ほかの団体と違うところだと思います。自分が楽しみながら皆さんにも楽しんでもらえていることが長く続いている秘訣です。シニア世代とか若い世代が力を合わせて、余暇を楽しみ、さらに活発な活動ができればと思っています。



▲座談会の様子

どんなことを行っていますか。

先人の知恵から学んで持続・発展する里山の取り組みということで、「SDGsの取り組み」、「湖西親子体験教室」、「おちばの里親水公園イベント」、「森づくり」、「今川こども自然クラブ」、「湖西青少年指導者養成研修会」、「森と親しむハイキングコースのパトロール」など自然の恵みを生かした様々な活動を年間延べ60回以上行っています。



嬉しかったこと、良かったこと、大変だったことは何ですか。

自分自身が楽しむことはもちろん、活動を評価してもらえる喜びを活力源としています。大勢来ていただき、参加する子ども達が楽しんでくれている姿を見るのがなにより嬉しいです。

平成13年から知波田小学校の地元の子どもたちと一緒に取り組んでいるビオトープが、環境大臣賞を受賞するなど、活動が評価されています。地元の小学校・子どもたちと一緒に地域を育てていくことを長年取り組んでこられたことが良かったと思いますし、子どもたちも自然が残っていて良かったと思っています。

メンバーは年々高齢化していますが、それぞれ、自分ができることを工夫し、ふれあうことを楽しみながら、よりよい活動にしていこうと取り組んでいます。このような活動に興味がある方は、ぜひ仲間に入ってほしいと思っています。

市民に伝えたいことは何ですか。

おちばの里親水公園の管理をきれいにっており、毎月の草刈りのほか、2週間に1回は芝刈りもしています。市の公園ですが、ボランティア的な人たちが自主的に行っています。手作りのベンチなどを設置し、川もあり、他にはない良さがある市民の憩いの公園です。素晴らしい公園ということをもう少し広報できたらいいなと思っています。2月に咲く大知波桜という、めずらしい桜の保護保全活動のほかフジバカマを植えて、7、8年毎日のように手入れをした結果、チョウのアサギマダラが多く来るようになりました。市外からも遊びに来てくれている方がいます。ぜひ、多くの人に遊びに来て欲しいです。

市や議会に望むことは何ですか。

今のフロンティア倶楽部に20代・30代の方々に入ってほしいと思っていますが、市の方でも積極的に若い世代の力を借りて、湖西市の未来をつくっていけるような環境づくりをしていただきたいと思います。若い世代が集まる拠点づくりをすることによって、湖西市の明るい未来が拓けるような取り組みをしてほしいとねがっています。当クラブのイベントには、お気軽に参加して頂ければ幸いです。「みんな、おいでんよ(倶楽部員の声)」



団体の紹介

湖西フロンティア倶楽部の活動はこちらからご覧いただけます。

<https://www.kosai.org/>

湖西フロンティア倶楽部



新春のご挨拶を申し上げます

挨拶に先立ち、まずは、令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

改めまして、皆様には、日頃から市議会に対する温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、令和5年は、統一地方選挙が行われ、湖西市議会も新体制での活動がスタートしました。一方で、近年は少子高齢化と人口減少による社会構造の変化の中で、地域の将来を真剣に考え、選択することが一層求められる時代となってまいりました。

そのために、我々市議会は、市政が適正に運営されているかを鋭く監視することはもちろん、一般質問、質疑、討論を通して、意図するところをより深く掘り下げて理解し、市民の皆様にお知らせしなければなりません。また、幅広い世代の皆様方から意見を広く聞く広聴活動も重要であります。

本年から、市民の皆様と直接お会いして意見をお聞きする、従来の形での議会報告会も再開します。市民の皆様をはじめ各方面の方々との対話を大切に、湖西市議会と市民の皆様がより身近な関係となれるよう、開かれた議会のもと、持続可能な住み続けたいまちづくりに努めてまいります。

どうか本年もご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

湖西市議会



12月定例会ではこんなことが決まりました

12月 定例会 会期 11月29日～12月13日	<input checked="" type="checkbox"/> 条例の制定	1件
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例の一部改正	12件
	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算	7件
	<input checked="" type="checkbox"/> 請願	1件
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3件
	合計	

この中から2つの
質問を紹介します!!

議案第108号

令和5年度湖西市一般会計補正予算（第9号）

●松くい虫防除の予防剤樹幹注入
道路施設管理運営費 755万4,000円

問 松くい虫防除の予防剤樹幹注入の
委託内容は。

答 樹幹注入とは、松枯れ被害の無い健全な松を対象に、病原体のマツノザイセンチュウに効果のある薬剤を注入し、発症を予防する方法である。委託範囲は、新居地区の市道4路線を予定している。また、2月中には注入作業を完了したいと考える。健全な状態の松であれば一般的に、注入後4年から7年は予防効果が持続するため、薬剤注入前にはそれぞれの松の状態を確認しながら進めたい。ただし、マツノザイセンチュウへの薬剤効果が不明瞭で、注入を行えば100%枯れないというものではない。

●旧新所幼稚園の改修事業
債務負担行為 1億2,000万円

問 旧新所幼稚園の改修内容は。

答 今回の改修は大きく4つに分類される。1点目は、子育て支援センターとして親子のふれあいや交流の場を提供するための室内の改修および園庭の駐車場化などである。2点目は、建物の建築基準法上の用途の変更に伴う排煙設備や換気設備などの改修。3点目は、老朽箇所を改善するための外壁塗装や屋上の防水などの改修。4点目は、照明のLED化などの工事である。大掛かりな工事が必要となり、全体的に改修費用が掛かるが、今後、安全に使うためにも必要な改修である。

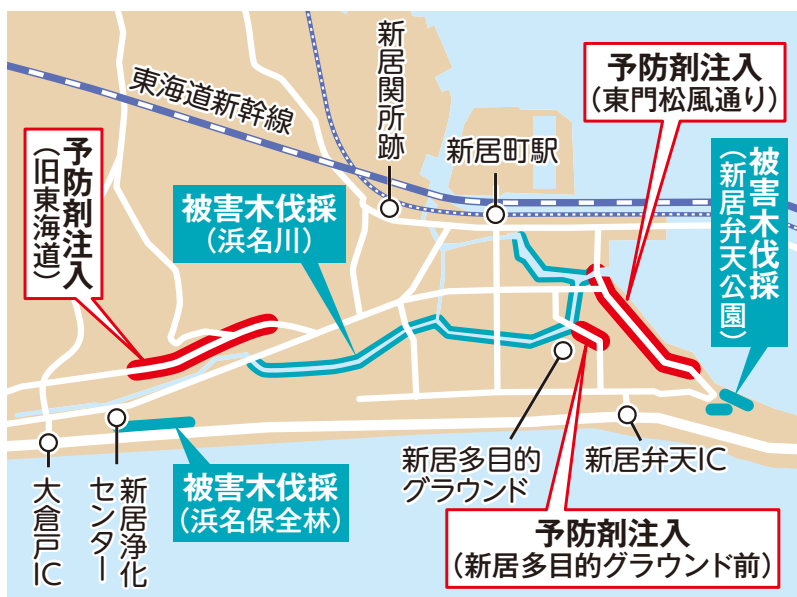
補正予算の注目ポイント

●松くい虫対策に総額5,432万8,000円を計上

市内で急速に範囲を拡大している松くい虫被害の対策のため、議案第108号 令和5年度湖西市一般会計補正予算(第9号)にて、松くい虫防除の予防剤樹幹注入や被害木の伐採などに係る費用を計上した。

対象となる事業と、事業ごとの予算計上額は次のとおり。

	事業名	補正予算計上額	対象エリア	備考
歳出	森林保護対策費	1,200万円	浜名保全林区域内	被害にあった松の伐採(310本)
	観光施設管理運営費	477万4,000円	新居弁天公園内	被害にあった松の伐採(49本)
	道路施設管理運営費	755万4,000円	新居地区市道4路線 ※地図内赤で表示	予防剤樹幹注入
	河川等管理運営費	3,000万円	浜名川、浜名川支線	被害にあった松の伐採(212本)



▲補正予算での対応箇所



▲被害を受けた松

質疑 Q & A

Q.伐採した松の処分方法は?
A.チップ化され、たい肥として利用される。

Q.伐採の工事期間は?
A.令和5年度内に完了する予定である。

Q.伐採の期待できる効果は?
A.健全な松への被害拡大を抑制できる。

Q.植栽の予定は?
A.現時点では考えていない。

賛否が分かれた議案一覧表

議案番号・議案名 請願番号・請願名	結果	相曾桃子	山本晃子	寺田悟	山口裕教	柴田一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上元	福永桂子	菅沼淳	土屋和幸	楠浩幸	佐原佳美	竹内祐子	荻野利明	馬場衛	神谷里枝	二橋益良	
議案第97号 湖西市特別職の職員で常職の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	—	○	○	
議案第98号 湖西市議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○
請願第1号 パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に係る情報開示を国に求める請願	第1項 不採択	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	○	—	●	●	
	第2項 不採択	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	—	●	●	

※「○」は賛成、「●」は反対。 ※議長(馬場 衛)は採決に加わらない。

請願の項目

- 1 現在WHO総会で行われているパンデミック条約の草案及び国際保健規則の改正案に関する協議内容や国民生活への影響等を、分かりやすく国民に周知すること。
- 2 議員、有識者、その他一般市民から意見を聴取する手続を早期に開始すること。

本会議での討論

<議案第97号>

●反対

人事院勧告で湖西市特別職の常勤の者の給料を改正しなければならないという法律的な根拠はなく、慣例などの一つとして行われている。人事院勧告だけを基準にするのではなく、現在の市民生活の状況を鑑みて、湖西市特別職の常勤の者の給料を改正しないという、政治的判断があっても良いと考え反対する。

<議案第98号>

●反対

人事院勧告に基づき市一般職の給料を上げることは、労働三権を返上する見返りがあるため良いと考える。しかし、特別職および議員の報酬は人事院勧告に従う義務はない。多くの人は物価上昇分(3%)の賃金が得られていないため、今年は国会でも問題になり、大臣などが事実上返上ということまで議論された。特別職と議員は慣例だけではなく、政治的配慮を持つべきと考え反対する。

●反対

人事院勧告は常勤の国家公務員と常勤の民間企業従業員の給与水準を均衡するものである。地方議会議員は、地方公務員法で特別職の公務員とされており国家公務員と同様に考えるべきではない。また、湖西市議会議員の定数と報酬は現在、議会活動推進特別委員会で調査研究中である。その結果にて金額の妥当性を考えるべきと考え反対する。

他1名

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。今回の定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。

湖西市議会 再生リスト
令和5年12月定例会

 湖西市議会公式サイト ウェブサイトで本会議・議員ごとの映像を見ることができます。

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会

本会議インターネット放送

本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)



楠 浩幸 議員



学校教育の充実について

問 外国籍の児童生徒への日本語初期指導の充実が必要と考えるが課題と方策は。

答 多国籍になってきたこと、通訳を含む指導員などの人材が見つからないこと、編入する児童生徒の年齢により日本語や母語の語彙力が異なるため個別の指導が多なことなどが課題。教育委員会と学校、市民課、国際交流協会で開催した協議会で、他市町の事例を参考に湖西市に合った初期支援の仕組みの構築に努めるほか、県の日本語コーディネーターを派遣要請し、専門家に助言をもらう機会を設ける予定である。

問 キャリア教育について教育現場と行政、民間企業とのコーディネートが必要と考えるが市の考えは。

答 キャリア教育は学校だけでなく、市全体で取り組んでいくことが重要であると捉えているため、コーディネートは必要だと思っている。市では積極的に企業とのマッチングを行っており、中学生に対する工場見学や出前授業のほか、商工会との共催で小学生に対する仕事体験イベントを実施した。今後も、子どもたちと企業との出会いを深め、体験から生き方を考えていくことができるように努めていきたい。

学校給食の公会計導入について

問 学校給食の公会計導入についての考えは。

答 学校給食法により、学校給食の実施者は学校の設置者であり、学校給食に関する事務を管理・執行する立場である教育委員会が学校給食費の徴収・管理を行うことが適切であると考えている。学校給食センターが令和9年4月の共用開始を予定していることから、令和8年度には学校給食費の公会計導入ができるように準備をしている。

市立湖西病院経営強化プランについて

問 「コミュニティ・ホスピタル」を目指し、回復期へ一部機能転換し経営強化を図るとのことだが、内容と市民へのメリットは。

答 総合診療医の充実により、診療できない事例を極力無くすことができ、加えて、今後需要の拡大が見込まれる在宅医療が充実すること。また、地域包括ケア病床の病棟化は、回復期への機能を拡充するもので、入院患者数や入院収益の増加を図るものである。病棟化により以前よりも退院、転院調整に時間的な余裕が生まれ、患者さんをはじめ、ご家族の負担が軽減されることがメリットであると考えている。



神谷 里枝 議員



行政のデジタル化、ICTを活用したまちづくりの進捗状況について

問 行政のデジタル化、ICT推進に向けた計画、取組みの進捗状況は。

答 湖西市DX推進計画の個別計画全体の目標値の達成率は、令和5年10月末現在、平均で42.8%であり、31の取組みのうち8つは目標を達成している。第6次湖西市総合計画で掲げているデジタルスマートシティの実現については、行政手続におけるオンライン利用件数、オンラインで利用できる行政手続数、RPAなどの導入による削減時間、を成果指標として掲げており、その目標値は全て達成している。

RPA…ロボティック・プロセス・オートメーションの略称。パソコンで行っている事務作業を自動化するソフトウェアロボット技術

問 「IT弱者」を出さない、高齢者やITインフラの整備が困難な方に向けた取組みは。

答 スマホ教室に加え、令和5年7月から市内郵便局の窓口スペースで、スマホで行う電子申請や市政情報の取得方法などの操作を郵便局の職員が支援する事業を新たに開始した。「コーちゃんペイ」などスマホを利用する事業については、極力専用のサポート窓口を設けるよう努めている。また、市内18カ所の公共施設にフリーWi-Fiを設置し、インターネット上のサービスが無料で利用できるようにしている。



柴田 一雄 議員



読書活動の推進について

問 学校が開かれている時間帯に地域住民が学校図書を利用することはできないか。

答 図書室は昼休みに児童生徒に開放しており、図書委員や担当職員などが貸し出しをしている。また、図書室は2階以上に配置されている場合が多く、地域の方が入ってくる際には授業をしているところを通らなければならない。そのため、地域住民への開放は担当職員の配置や特に安全面から難しい。今後、学校再編の中で子どもたちの安全面に配慮して地域の図書館として学校の一角に設置することは良い考えである。



竹内 祐子 議員



令和6年4月からのごみ出しについて

問 資源ごみとして出していたものを、燃えるゴミとして処理することの説明を丁寧にさせていただきたいがどう考えているか。

答 プラマーク品はこれまで北九州市まで輸送し、高温で熱分解処理をしていたが、二酸化炭素の排出量は環境センターで焼却する場合と比較し変わらない結果であった。今後はプラマーク品の焼却熱を利用し、アメニティプラザへの余熱供給や環境センターへの電力供給のための発電を行い、燃料使用量削減などに寄与し二酸化炭素の削減を図る。このことは、改めて広報こさいやウェブサイトなどで周知していきたい。

集中豪雨&土砂災害などの避難情報の伝達と避難について

問 自宅から避難場所までの距離が長く避難途中で災害に見舞われるようなところはないか。また、避難場所は適切か。

答 避難場所と避難経路を記載したハザードマップでは、警戒区域など危険な場所を通らない避難経路を設定している。梅田地区においては、梅田コミュニティーセンターが警戒区域内にあることから、公共施設の中で最も近い西部地域センターを避難場所として設定している。避難場所までの距離が遠い方には、警戒区域外にある親戚や知人宅、2階以上のがけから離れた部屋への避難など、繰り返し周知を図っていく。

新所原駅などにおける公共施設のメンテナンス状況について

問 エスカレーターやエレベーターが再び故障などにより長期間利用できなくなることを防ぐための、今後の点検・管理方法は。

答 JR新所原駅のエスカレーターは年1回の法定点検、毎月の定期点検を実施、エレベーターは年1回の法定点検、3カ月に1回の定期点検のほか遠隔操作による動作確認点検を毎月実施している。受注生産品が破損した場合には部品のストックがなく復旧までに多くの日数を要する。今後は部材の耐用年数なども勘案し、破損してからの交換ではなく、予算の許す範囲で、計画的な部品交換を実施していきたい。



山口 裕教 議員



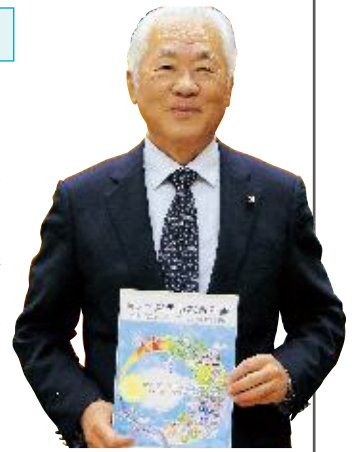
歩道の安全管理強化について

問 道路パトロールにおける歩道の維持管理基準と、草木のはみだしなど不具合発見と対応の事例は。

答 毎月1回行う道路パトロールでは、歩行者の安全を確保するため、舗装の陥没、側溝蓋のガタツキやガードレールの破損状況、道路の不法占用や不正使用の確認などに注視している。歩道への木枝の張り出しは、建築限界の高さ2.5メートルを指導の基準とし、発見した場合、土地所有者に草木などの除去を依頼する文書と位置図や現況写真などを郵送している。ただし、緊急を要する場合は市が直接除去することもある。

問 民地に生えて歩行空間にはみ出している草木の除去について、行政として市民に自覚を促す工夫は十分か。

答 空き地などの草木の除去は、毎年繰り返される内容となることから、日常からの適正な管理が重要になる。現在「湖西市空き地の環境保全に関する条例」に基づいて指導を実施する場合は、現状での対応はもちろんのこと年間を通した適正管理を依頼している。空き地や歩道、太陽光の施設など、土地の状況は様々だが、適用可能な法令、条例に基づき住環境の向上に向けて対応していく。



加藤 治司 議員



松くい虫の防除について

問 倒木による人的被害が想定されるがどのようにお考えか。

答 以前より人や車両、人家に対し倒木の危険がある被害松については、伐倒駆除を行っているが、今後処理する被害松についても、危険な被害松から優先的に伐倒駆除を行っていく。また、東大演習林については、11月末に湖西市道に隣接した被害松の伐倒処理を行った報告を受けている。

市の人事管理について

問 働きやすい職場を目指すための施策をどのようにお考えか。

答 業務の効率化や生産性を向上するため、業務改善やDXを推進するとともに、心と体の健康管理に取り組んでいる。本年度は資格を持つ外部のカウンセラーによる職員向けカウンセリングを始めたり、所属長を対象にメンタルヘルス(ラインケア)研修を実施したりするなど、職場全体で職員をケアしていくことで快適な職場づくりを目指している。



二橋 益良 議員



ラインケア研修…管理職などの上司が部下の心の健康を支援するために必要なスキル学ぶ研修

高齢者、障がい者などの団体に対するバスの利用制度の構築について

問 高齢者や障がい者などの団体がマイクロバスの利用ができない状況をどのように認識しているか。

答 社会福祉協議会のマイクロバス貸出事業は、近年の登録団体激減に伴う利用率の低下や、老朽化による維持管理経費の増加などの理由から、令和4年11月で運用廃止となった。高齢者や障害者などの団体が社会参加する機会が減少するのではないかと、というご意見があることは承知している。市としては、高齢者や障害者の方々のニーズに耳を傾けながら、団体活動や社会参加へのサポートを考えていく。

問 高齢者や障がい者などの団体が研修会などで市のバスを利用できるような制度を構築する考えはあるか。

答 市内の補助団体や外郭団体は、市の委託事業のほか、業務を遂行する上で市が必要と判断する場合に市で保有しているバスを利用している。市のバスを利用できるような制度の構築について、現時点では考えていない。市としては、精神障害者のタクシー助成の拡充や施設通所者の通所距離の算定方法の見直し、高齢者のバス・タクシー助成の拡充などを検討し、サービスの充実を進めていく。



土屋 和幸 議員



子育て・教育の充実について

問 市民意識調査「住みやすい理由」としての「子育てがしやすい」割合低下の結果をどのように捉えているか。

答 市は、こども医療費の無償化や第2子以降の保育料無償化など、子育て支援や教育関連事業に力を入れてきた。令和5年度に「子育てがしやすい」の割合が低下したことは、市民ニーズに沿えない部分があったものもあり、一層の充実が必要と感じている。他方、「子育てがしにくい」割合は、令和4年度から4.7%減少しており、施策の効果を感じている。今後も市民のニーズに合った子育て支援策を一つ一つ着実に実施し、子育てがしやすい住みやすい街として評価をいただけるよう努める。

問 閉園した鷺津保育園を小規模保育事業所として再開することや、鷺津幼稚園をこども園化するなど予定はあるか。

答 旧鷺津保育園は、老朽化が著しいため令和4年度末に閉園し、解体後は職住近接の推進のため宅地として売却していく予定である。鷺津幼稚園は、保育需要の変化に合わせてこども園化を検討している。こども園化するためには、保育教諭の増員、乳児用保育室の整備や給食室の新設などが必要である。今後は保育需要を注視し、時代に合わせ臨機応変に対応していく。



相曾 桃子 議員



こども基本法の具体化について

問 小中学校再編について、子どもたちの意見を聞いたか。子どもたちの意見はどうだったのか。

答 令和5年3月の学校再編に関わるアンケートは、小学校入学前や小学生の子育て世代の方を対象に実施した。現在通っている学校と別の学校の比較や、児童生徒数が減った学校の様子のご想定は子どもたちにとって難易度が高く、学校再編を検討する際に参考データとすることは難しいため、子どもは対象としていない。再編が行われる際には、子どもたちから期待や不安について意見を聞き、具体的に対処していきたい。



荻野 利明 議員



補聴器購入に補助を!

問 高齢者へのアンケートの結果からどのような評価しているのか。

答 補聴器購入費補助制度について、令和5年2月から3月に市内在住の65歳以上の方を対象にアンケートを実施した。906人から回答があり、聞こえに対し困っていることがある人は398人。そのうち、補聴器の利用予定がない16人の中で、購入費用を理由とした人は6人であった。市としては、経済上の理由により補聴器の購入を躊躇^{ちゆうちよ}されている方への支援が必要と考え、制度の導入を前向きに検討していく。

浄化槽設置整備事業について

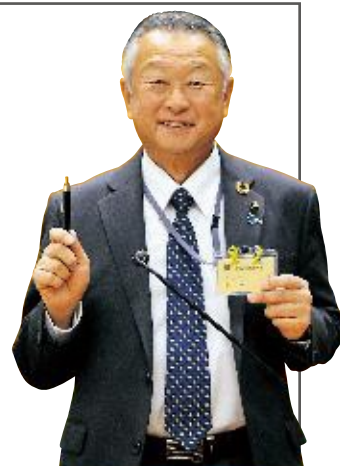
問 合併処理浄化槽転換補助金制度について、令和6年4月から変更となる補助額の算定根拠は。

答 これまでは上限額が設定されていたため、本体工事費、宅内配管工事費、便槽等撤去費のそれぞれに対する補助金の合計より少ない補助額となっていた。新たな制度では、国が示す各費用の交付対象基本額の合計額を補助額とする。種類(汲み取り槽か単独浄化槽)とサイズにより8.4万円から15.3万円の補助額を拡充し、合併浄化槽への転換の促進を図る。

漁業支援について

問 充実しているとは言えない漁業者に対する補助制度の拡充について市の考えは。

答 昨年度は物価高騰対策として、市単独で農水産省エネ機械設備等導入支援事業による船外機関や魚群探知機への補助を行った。また、水産施設整備事業費補助金として浜名漁協所有の給油設備の取換などに対する補助や、漁業近代化資金を活用し、漁船を購入する漁業者などに対し利子補給を行っている。今後も漁協や漁業者の要望を聞き、漁業の持続的な発展に寄与できる施策を検討していく。



寺田 悟 議員



不登校児童生徒へのオンラインを活用した対策について

問 市が計画している新たな不登校児童生徒への支援策は。

答 現在、児童生徒の豊かな心を育成し良好な人間関係が構築できるよう県の「人間関係づくりプログラム」の実施や、学識経験者による教員の学習会を開催し、児童生徒に対する見立ての向上と、不登校の未然防止に努めている。今後はさらに、児童・生徒、スクールカウンセラー、担任や養護教諭とともに、ストレスに対する対処行動やアンガーマネジメントを学び、実践をねらいとした授業の実施を検討している。

アンガーマネジメント…怒りの感情を客観的に理解し、コントロールするスキル

令和5年度開始の産前産後ホームヘルプサービス利用費補助事業のホームヘルパー養成と利用促進について

問 当市の補助事業の対象は家事代行のみであり、育児相談支援がない。家事・育児ヘルパー養成講座を開催し、修了者などを雇用したヘルパー事業所の開設ができないか。

答 家事支援と育児支援の事業者は市内外にあるが、母親への育児相談支援については、子育てに関する知識や技術が必要となり、市内に事業者がいない。湖西市社会福祉協議会が子育て支援事業の実施を検討中であり、人材育成研修の実施とヘルパー派遣事業で培ったノウハウを活かして、家事支援はもとより、育児相談支援も実施できないか今後協議を開始するところである。



佐原 佳美 議員



新型コロナワクチン接種による湖西市民の健康被害に関して

問 湖西市における新型コロナワクチンによる死亡者、重篤者、副反応疑いの現在の人数、症例は。

答 国から湖西市への情報提供は7例である。症状の程度が「重い」の報告が4例(気胸、急性心不全、血栓、記憶障害)。症状の程度が「重くない」の報告が3例(倦怠感、発熱、じんましん)となっている。年齢は、20代1人、30代2人、50代1人、60代2人、80代1人で、性別では男性が4名、女性が3名という状況である。

問 不幸にも健康被害を被った方に向けて、市として救済などの考えはあるか。

答 新型コロナワクチン接種については、国策として実施されているものであり、国が対応すべきものと考えことから、市独自の救済制度は考えていない。市としては、市民からご相談いただいた場合には、申請書類の準備や申請手続きについて丁寧に案内し、被害を被った方へ寄り添い対応をしていく。



山本 晃子 議員



学校給食の無償化について

問 子育て支援策に注力して人口が増え続けている明石市のように、近隣の市より優れている何かを打ち出す考えは。

答 子育て支援や教育・保育関連予算の一般会計に占める割合は、平成30年度には13.3%だったが、令和5年度には14.7%に増加している。これからの子育て支援策として、多子世帯への修学支援制度の検討のほか、新たな子育て支援センターなどの子育て環境の整備に繋がる施策を計画している。近隣市町と差別化を図り、居住地として湖西市を選択していただくためにどうすればよいか常に考えてまいりたい。

その他の質問 9月定例会後のソーラーパネルの対応について不登校児童生徒を発生させないための取組について

問 給食費の無償化の方針を表明し、中学校、小学校高学年、小学校低学年の順に段階的に行う考え方はどうか。

答 給食費の無償化や、義務教育費の全面無償化や高等教育費の支援拡充など、国策として行うべきであると考えている。その上で市としては、職住近接の推進のための子育て世帯への支援、また少子化対策の一環として、基礎自治体が出来ることがしっかり行っていきたい。現在、保護者に実施している給食費に関するアンケート結果も参考に、制度設計を行ったうえで、できれば令和6年度から実施したいと考えている。



三上 元 議員



健康寿命延伸に向けたクアオルト健康ウォーキング導入と“健康分野における観光産業化”について

問 令和4年6月定例会で一般質問した「自治体における健康増進施策の展開について」のその後の進み具合は。

答 健康づくりに効果のあるウォーキング事業への取組について、本年度は、筋力・持続力の向上や骨密度の増加、生活習慣病リスクの改善について科学的エビデンスのあるインターバル速歩の体験会を2日間実施し、参加者から好評を得ている。今後も、科学的エビデンスがあり、少ない費用で効果が得られるウォーキング事業を調べ、市民の皆様への情報提供に努めていく。

問 健康分野における観光産業化など、新しい産業の創出や育成に積極的な取組みへの考えは。

答 クアオルト健康ウォーキングは、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸等、効果のある運動療法と認識している。健康分野における観光産業化については、来春オープンする浜名湖パークビレッジを活用し、本市の観光資源を満喫していただくことが健康の維持・増進に繋がると考えている。まずは、誘客に繋がるウォーキングについて、行政、民間、関係団体と連携し、共通認識をとり意識を高めていきたい。



福永 桂子 議員



議員研修会

これからの議会の在り方を考える ～ 議員定数となり手不足 ～

統一地方選挙の結果を踏まえ、議員のなり手不足などについて議会自らが危機感を持ち、議会一体となった対策が必要であると考え、「議員定数」をテーマとした議員研修会を令和5年11月1日（水）に開催しました。



▲講師：廣瀬行政研究所 代表 廣瀬 和彦氏

研修の概要

● 湖西市議会の特徴は？

- 人口規模等から勘案しても現在の定数は多くはない
- 若い世代が少ない（平均 65.4 歳）
- 女性議員比率は高い（33.3%）

● 定数削減するとどうなるの？

- 議会体制の弱体化
- 監視機能の低下
- 削減＝少数精鋭とはならない

行政チェックがおろそかに？

● 議員定数はどうやって考える？

- 人口比例方式が基本スタンス
- 適正な「常任委員会数 × 委員数」
- 議論を尽くせる体制の確保

● 見えてきた課題は？

- 議会、議員活動の周知不足
- 市民との接点不足
- 若い世代にとって職業としては報酬額が低い

そもそも議会や議員の活動実体を知らない…

● 今後何が必要？

- 議会活動の見える化
- 若手のなり手不足の要因調査
- 住民との交流機会の創出
- 議員の調査研究活動の充実（資質向上）

議会を知ってもらおう！

令和5年の議会活動を報告します

令和5年は定例会を3月、6月、9月、12月に開催し、第1回臨時会を5月に開催しました。

また、委員会を必要に応じて開催し、議案の審査などを行いました。こうした1年間の議会活動の概要を報告します。

■定例会等の開催状況

※「原案可決」には専決処分の「承認」、人事案件の「同意」、決算の「認定」が含まれています。

区 分		定例会				臨時会	合計	
		3月	6月	9月	12月	5月		
会期の日数		34	17	31	15	1	98	
本会議日数		6	5	6	5	1	23	
議 案	市長提出	予 算	13	4	6	7	3	33
		条 例	16	11	5	12	4	48
		その他	11	5	12	3	1	32
	議員等提出		1	0	0	1	0	2
	合 計		41	20	23	23	8	115
	審議結果	原案可決	41	20	23	23	8	115
		修正可決	0	0	0	0	0	0
		否 決	0	0	0	0	0	0
		撤 回	0	0	0	0	0	0
	請 願		0	0	0	1	0	1
一般質問者数		15	15	13	15	—	58	
傍 聴 者 数		32	48	72	34	2	188	

■請願・陳情の受理状況

区分	請願	陳情
件数	1件	1件

※「陳情」については、直接提出があり、かつ、正副議長に説明があったものだけの件数です。

委員会等開催状況

	常任委員会			議会運営委員会	議員全員協議会	議会だより編集委員会 (R5.6.21廃止)			
	総務経済	福祉教育	建設環境						
会議日数	17	16	17	16	14	8			
傍聴者数	0	0	0	0	—	—			
	特別委員会								
			R5.2.17で終了				R5.6.21から設置		
	予算	決算	広報広聴	広報広聴 (第1分科会)	広報広聴 (第2分科会)	議会活動 推進	広報	広聴	議会活動 推進
会議日数	3	3	1	2	1	2	12	7	6
傍聴者数	1	0	0	0	0	0	0	0	0

※常任委員会・特別委員会には勉強会などの開催日数も含まれています。

※R5.6.21に設置された広報特別委員会が議会だよりの編集を行うようになったことから、議会だより編集委員会は同日に廃止となりました。

議員数(令和5年12月31日現在)

条例定数	現在数
18人	18人

議会の新体制は
こちらからご覧いただけます。
(ぎかいのひろばNo.204)



※令和5年4月23日に任期満了に伴う湖西市議会議員選挙があり、議員の改選がありました。

議員の報酬等(令和5年12月31日現在)

区分	報酬月額	期末手当支給額		
		6月 支給割合1.65月分	12月 支給割合1.75月分	合計 支給割合3.4月分
議長	410,000円	947,100円	1,004,500円	1,951,600円
副議長	375,000円	866,250円	918,750円	1,785,000円
常任委員長	350,000円	808,500円	857,500円	1,666,000円
議運委員長				
議員	345,000円	796,950円	845,250円	1,642,200円

※期末手当額=(報酬月額×1.40(加算率))×支給割合

議会の傍聴



湖西市議会 インターネット中継



実際の議会を議場で見ることができます。
詳しくは市議会のウェブサイトをご覧ください。
また、議会事務局までお問合せください。

また、本会議のインターネット放送を行っています。

ぜひご覧ください。

市議会からのお知らせ

「ぎかいのひろば」を スマホでも!



マチイロ を使えば、**ぎかいのひろば** を
スマートフォンで読むことができます。
(※別途通信料が掛かります。)

利用方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住まいの地域を「湖西市」に設定



編集:広報特別委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

- ◎加藤 治司 ○相曾 桃子 山本 晃子
寺田 悟 山口 裕哉 滝本 幸夫

3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/11	12	13	14	15	16 10:00~ 本会議第1日	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29 10:00~ 本会議第2日	3/1	2
3	4 10:00~ 本会議第3日 (一般質問)	5 10:00~ 本会議第4日 (一般質問)	6 10:00~ 本会議第5日 (一般質問)	7 9:30~ 予算特別 委員会	8 9:30~ 予算特別 委員会	9
10	11 9:30~ 予算特別 委員会	12 10:00~ 総務経済 委員会	13 10:00~ 福祉教育 委員会	14 10:00~ 建設環境 委員会	15	16
17	18	19	20	21 10:00~ 本会議第6日	22	23

予定が変わることもありますので、最新の情報はウェブサイトでご確認ください。

次回は
令和6年5月15日 発行予定です

発行/湖西市議会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会
公式サイトも
ご覧ください

